



内務省神社局長從五位勳六等法學博士水野
鍊太郎以下六十六名叙位ノ件
右謹テ奏ス

明治三十七年九月十七日

内閣總理大臣伯爵桂太郎

内

閣

周 一二三

明治三十七年九月十五日

内閣書記官

内閣總理大臣

木

内閣書記官長

内務省神社局長從五位勲六等法學博士水野鍊太郎
以下六十六名敘位進階内則第二條依り敘位ノ
件

從五位勲六等法學博士水野鍊太郎

從五位勲五等理學博士平山信

從五位理學博士三好學

從五位勲六等法學博士戸水寛人

從五位林學博士川瀬善太郎

從五位醫學博士三浦謹之助

從五位勲五等法學博士寺尾亨

從五位勲六等工學博士的場中

敘正五位

正六位勲六等塩谷時敏

全 全 山井幹六

全 飯島正之助

正六位理學博士五島清太郎

正六位勲六等全

堀和為昌

正六位文學博士箕作元八

全勲六等島田剛太郎

敘從五位

從六位勲五等窪田重弑

全勲六等柳悦磨

全佐立二郎

全島田鈞一

全村田祐治

從六位保志虎吉

全藤代禎輔

從六位勲六等法學博士松波仁一郎

從六位全小野塚喜平次

全山田三良

敘正六位

正七位勲五等田坂定憲

全水野降祿

全勲四等道家次郎

全堀内秀太郎

敘從六位

全 全 全 全 全 全 全 全 全 全
新 萬 齋藤繁樹
鈴木豐治
山口孝吉
福井松雄
岡田正之
二本武重
勲六等井上正進
全 安久津成雅

從七位

作間餘三郎
園田半之助

長尾美知
久保田圭右

敘正七位

勲七等野侯寛治

星田正一郎
大野中二
内林嘉四郎

正位
全

寺田救一

尾形龜壽

脇屋義氏

中村免茂吉

國友 鼎

蒲原久四郎

敘從七位

神 幹

林 勝助

山本新太郎

金子孫三郎

久保春海

土田伊藏

勲七等
多羅間改輔

秋吉作内

松岡公達

植田延太郎

田中瀧三郎

山口酉三郎

藤野嚴九郎

叙正八位

内閣

裏面白紙

10

裏面白紙

内務省
官房

四十八號

別紙 水野鍊太郎 叙位 一件
上奏書進達ス

明治三十七年九月五日

内務大臣子爵芳川顯正



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

豆

五位

廿年八月廿日
叙五位

三十七年一月廿日
内務省神祇局長

(三等官)

後任勲等海軍少佐
後任勲等海軍少佐

右叙位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通
位一級進ノミ度謹テ奏ス

明治三十七年九月廿日

内務大臣子爵芳川顯正



内務省

裏面白紙

別紙陸軍歩兵大尉田坂定憲以下三名現位ニ叙セラレ
以来五年以上勤勞不尠候ニ付文武官叙位進階
内則第ニ條ニ依リ各位一級ヲ進メラレ度
謹テ奏ス

明治三十七年八月廿八日

陸軍大臣 寺内正毅



陸軍省

裏面白紙

左	從六位	明治三十三年六月二十日
左	左	敍正七位
左	左	明治三十三年七月十日
左	左	明治三十三年六月二十日
左	五年	
左	陸軍歩兵大尉正七位勲五等	
左	左	左
左	陸軍一等主計正七位勲四等	
	田坂定憲	
	水野降祿	
	道家次郎	

陸軍省

從七位明治卅七年七月廿九日海軍技師勲七等野 侯 寛 治
右頭書ノ通叙位セラレ度
謹テ奏ス

明治三十七年八月廿九日
海軍大臣男爵山本

権兵衛



海

軍

海秘人第百九十六號

野侯海軍技師叙位ノ件文武官叙位進

階内則

第ニ條ニ依リ

別紙上奏書進達ス

明治三十七年八月廿九日

海軍大臣男爵山本

権兵衛



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

海秘入第二百二號

窪田海軍全計中監外二名文武官叙位進階内
則第ニ條ニ依リ別紙上奏書進達ス

明治三十七年九月三日

海軍大臣男爵山本 権兵衛



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

海軍

正六位 明治三十七年一月十七日 任海軍主計中監(一等官) 海軍主計中監從六位勲五等窪田重式
 今 今年七月十三日 任海軍水路中監(全) 海軍水路中監今 勲六等柳 悦磨
 正七位 今年七月廿五日 任海軍教授(六等官) 海軍教授酒井小太郎
 右各頭書ノ通叙位セラレ度
 謹テ奏ス

明治三十七年九月三日

海軍大臣男爵山本

権兵衛



海軍

正六位 明治三十七年一月十七日 任海軍主計中監(兼) 海軍主計中監從六位勲五等窪田重式

全 今年七月十三日 任海軍水路中監(全) 海軍水路中監全 勲六等柳 悦磨

正五位 今年七月廿五日 任海軍教授(六等) 海軍教授酒井小太郎

右各頭書ノ通叙位セラレ度 謹テ奏ス

明治三十七年九月三日

海軍大臣男爵山本

権兵衛



海 軍

海軍第二百五號

星田海軍中主計以下七名叙位ノ件文武官叙
位進階内則第二條ニ依リ別紙上奏書進達
ス

明治三十七年九月十二日

海軍大臣男爵山本

権兵衛



内閣總理大臣伯爵桂

太郎殿

海

軍

18

從七位

明治三十七年八月十日
任海軍中主計七等官

海軍中主計

星田

正一郎

正八位

全
任海軍少主計八等官

海軍少主計

大野

中二

全

全

全

林

勝助

全

全

全

山本

新太郎

全

全

全

金子

孫三郎

全

全
全月十三日

全

久保

春海

右各頭書ノ通叙位セラレ度

全

全

全

全

謹テ奏ス

明治三十七年九月十二日

海軍大臣男爵山本

権兵衛



裏面白紙

内務大臣
官房
甲
四五一號

別紙
堀内秀太郎外三名
敘位
上奏書進達ス

ノ件

明治三十七年八月廿七日

内務大臣子爵芳川顯正



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

内務省

後六位

廿五年十月十日
敘正七位

三十六年三月十九日
任神奈川縣本町官
三十七年七月廿七日
任敘高等官五等

(又等官)

正七位

堀内秀太郎

後六位

廿五年十月十日
敘正七位

三十四年四月十日
任香川縣技師
三十七年七月廿七日
任敘高等官五等

(又等官)

正七位

齋藤繁樹

後六位

廿五年十月十日
敘正七位

三十三年五月十六日
任高知縣技師
三十七年七月廿七日
任敘高等官五等

(又等官)

正七位

新 萬

正七位

廿五年十月十日
敘正七位

三十七年六月七日
任東京府技師
三十七年七月廿七日
任敘高等官六等

(又等官)

正七位

作間餘三郎

右敘位進

階内則第二條：依り各頭書

ノ通位一級進

ノ度謹テ奏ス

内務省

明治三十七年八月廿七日

内務大臣子爵芳川顯正



内務大
臣官房
甲第四九四號

別紙 内林嘉四郎外四名 叙任ノ件
上奏書進達ス

明治三十七年九月一日

内務大臣子爵芳川顯正



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

從七位	任兵庫縣技師 三十七年七月三十日	(七等官)	内林嘉四郎
正八位	任石川縣警署視 三十七年七月廿六日	(八等官)	土田伊藏
正八位	任大分縣速見郡長 三十七年七月三十日	(八等官)	勲七等多羅間政輔
正八位	任大分縣大野郡長 三十七年七月三十日	(八等官)	秋吉作内
正八位	任大分縣警署視 三十七年七月三十日	(八等官)	松岡公達
右敘位進階内則第二條ニ依リ各頭			
書通敘位ヲ度謹テ奏ス			

明治三十七年九月一日

内務大臣子爵芳川顯正

内務省

裏面白紙

内務大臣
官号
甲第四十七號

別紙 佐五二郎外四名 叙位
上奏書進達ス
、件

明治三十七年九月五日

内務大臣子爵芳川顯正



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

豆

正六位	任大坂府技師 三十七年八月廿日 任教高寺官四等 三十七年七月廿日	(五等官)	從六位	佐立二郎
從六位	任岐阜縣技師 三十七年八月廿日 任教高寺官五等 三十七年七月十九日	(六等官)	正七位	鈴木豊治
正七位	任北海道廳警視 三十七年八月廿日 任教高寺官六等 三十七年七月廿三日	(七等官)	從七位	園田半之助
從七位	任岐阜縣警視 三十七年八月廿日 任教高寺官七等 三十七年七月七日	(八等官)	正八位	寺田叔一
從七位	任若手縣警視 三十七年八月廿日 任教高寺官七等 三十七年七月七日	(六等官)	正八位	尾形龜壽

内務省

右敘位進階内則第二條ニ依リ各頭書ノ
通位一級進ノレ度謹テ奏ス

明治三十七年九月五日

内務大臣子爵芳川顯正



裏面白紙

内務大臣
官房
甲第四号

別紙 脇屋義民外二名 敘位
上奏書進達ス 件

明治三十七年九月九日

内務大臣子爵芳川顯正



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

從七位

三十七年八月三日
任香川縣香川郡長

(七等官)

脇屋義民

正八位

三十七年八月九日
任愛媛縣南宇和郡長

(八等官)

植田延太郎

正八位

任愛媛縣警視

(八等官)

田中瀧三郎

右敘位進階内則第二條ニ依リ各頭書

ノ通敘位ニシテ度謹テ奏ス

明治三十七年九月九日

内務大臣子爵芳川顯正

内務省

甲第九七〇號

平山信以下二十九名叙位、件

右、上奏書及進達候也

明治三十七年九月六日

文部大臣久保田讓



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

文
部
省

東京帝國大學理科大学教授

敘正五位

從五位勲五等理學博士 平山 信

明治三十七年七月十二日陞敘 高等官二等

東京帝國大學理科大学教授

敘正五位

從五位理學博士 三好 學

明治三十七年七月十二日陞敘 高等官二等

東京帝國大學法科大学教授

敘正五位

從五位勲六等法學博士 戸水 寛人

明治三十七年七月十二日陞敘 高等官二等

文部省

東京帝國大學農科大学教授

敘正五位

從五位林學博士 川瀬 善太郎

明治三十七年七月十二日陞敘 高等官二等

東京帝國大學醫科大学教授

敘正五位

從五位醫學博士 三浦 謹之助

明治三十七年七月十二日陞敘 高等官二等

東京帝國大學法科大学教授

敘正五位

從五位勲五等法學博士 寺尾 亨

明治三十七年七月十二日陞敘 高等官二等

東京帝國大學工科大学教授

叙正五位

從五位勲大等工學博士的場中

明治三十七年七月十日陞叙高等官二等

第一高等學校教授

叙從五位

正六位勲六等 塩谷時敏

明治三十七年七月九日陞叙高等官三等

第一高等學校教授

叙從五位

正六位勲六等 山井幹六

明治三十七年七月九日陞叙高等官三等

第一高等學校教授

叙從五位

正六位 飯嶋正之助

文部省

明治三十七年七月九日陞叙高等官三等

第一高等學校教授

叙從五位

正六位理學博士五嶋清太郎

明治三十七年七月九日陞叙高等官三等

東京帝國大學理科學教授

叙從五位

正六位勲六等理學博士堀和為昌

明治三十七年七月十三日陞叙高等官三等

東京帝國大學文科學教授

叙從五位

正六位文學博士 箕作元八

明治三十七年七月二十日陞叙高等官三等

第一高等學校教授

敘正六位

從六位

島田鈞一

明治三十七年七月九日陞敘高等官四等

第一高等學校教授

敘正六位

從六位

村田祐治

明治三十七年七月九日陞敘高等官四等

第一高等學校教授

敘正六位

從六位

保志虎吉

明治三十七年七月九日陞敘高等官四等

第一高等學校教授

敘正六位

從六位

藤代禎輔

明治三十七年七月九日陞敘高等官四等

東京帝國大學法科大學教授

敘正六位

從六位勲六等法學博士 松波仁一郎

明治三十七年七月十三日陞敘高等官四等

東京帝國大學法科大學教授

敘正六位

從六位法學博士 小野塚喜平次

明治三十七年七月十三日陞敘高等官四等

東京帝國大學法科大學教授

敘正六位

從六位法學博士 山田三良

文部省

明治三十七年七月十三日陞叙高等官四等

文部技師

叙從六位

正七位

山口孝吉

明治三十七年七月二日陞叙高等官五等

京都高等工藝學校教授

叙從六位

正七位

福井松雄

明治三十七年七月九日陞叙高等官五等

第一臨時教員養成所教授

叙從六位

正七位

岡田正之

明治三十七年七月二十日陞叙高等官五等

文部省

千葉醫學專門學校教授

叙正七位

長尾義知

明治三十七年七月二十七日任

高等官六等

第四高等學校教授

叙正七位

久保田圭右

明治三十七年七月二十七日任

高等官六等

文部編修

叙從七位

中村兔茂吉

明治三十七年七月六日任

高等官七等

長崎醫學專門學校教授

叙從七位

國友 鼎

明治三十七年七月十二日任

高等官七等

女子高等師範學校教授

叙正八位

山口 酉三郎

明治三十七年七月一日任

高等官八等

仙臺醫學專門學校教授

叙正八位

藤野 嚴九郎

明治三十七年七月六日任

高等官八等

右謹テ奏ス

明治三十七年九月六日

文
部
省

文部大臣久保田 譲



山林局書記官兼農商務書記官島田剛太郎
叙位、件別紙上奏書進達ス

明治三十七年八月二十九日

農商務大臣男爵清浦奎吾



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

農商務省

森島書記官農商務書記官六位勲六等島田剛太郎

叙從五位

明治三十七年三月三十一日
叙高等官三等

右謹テ奏ス

明治三十七年八月二十九日

農商務大臣男爵清浦奎吾



農商務省

別紙蒲原久四郎叙位ノ件上奏

書進達ス

明治

廿七年九月七日

逓信大臣大浦兼武



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

從七位

明治七年八月三日
任東京郵便電信學校教授
叙高等官八等

同日
兼任通信事務官
叙高等官七等

蒲原久四郎

右謹テ奏ス

明治七年九月七日

逓信大臣大浦兼武



二九九五

本月七日官報第2953號以
省省大員より東京郵便電信学
校教授蒲原久四郎を以て
上奏書進達相成る事左記
之通呈動有之長条氏殿
市通達候也

明治二十七年九月十日
逓信大臣 板垣退蔵 官



内閣書記官
中

東京郵便電信学校教授兼逓信事務官 蒲原久四郎

免本官専任逓信事務官
八級俸下賜

大正七年九月十日

別紙三本武重始三名進位ノ件
上奏書進達ス

明治廿七年九月十二日

逋信大臣大浦兼武



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

從六位	從六位	從六位	右謹
廿七年八月九日 陸叙高寺官五等	廿七年八月九日 陸叙高寺官五等	廿七年八月九日 陸叙高寺官五等	ヲ奏ス
鐵道事務官正七位	鐵道事務官正七位	鐵道事務官正七位	
三本武重	井上正進	安久津成雅	

明治廿七年九月十二日

逓信大臣大浦兼武

